

Low Down Spring

MLY700

取付・取扱説明書



株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1

TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ ローダウンスプリングをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輛に組付る前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

⚠ 取付上の注意事項 : 警告 (人的には死亡または重傷、物的には重大な損害の発生する可能性がある場合。)

1. 当製品の通常の取付作業に関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、サスペンション部品の分解作業に伴い、専門の知識、特殊工具が必要な重整備作業です。自動車の損傷や作業中の事故を防止するため、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、又は当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
2. 事故防止のため、ジャッキアップする際は必ずリジットラックなどを用い、自動車メーカー指定の位置で確実に車輛を固定してください。
3. スプリングコンプレッサー使用時は、コイルスプリングが傷付かないようにウエスなどを介して取付け、作業中の事故防止のため慎重に作業を行ってください。
4. ピストンロッドナットはスプリングコンプレッサーでコイルスプリングを圧縮した後に取外してください。コイルスプリングを圧縮する前にピストンロッドナットを取外すと、コイルスプリングが飛出し、部品の損傷および死傷事故につながる恐れがあります。
5. パーツリスト以外の部品を使用した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。指示のない部品は、必ずマツダ純正部品をご使用ください。
6. 製品の改造、加工は絶対に行わないでください。この事により発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

⚠ 取付上の注意事項 : 注意 (人的または、物的に損害が発生する可能性が想定される場合。)

1. 適合車種以外の車輛への取付は絶対に行わないでください。
2. 走行直後はエンジンやブレーキ周辺パーツが高温になります。作業中の火傷防止のため各部が完全に冷えたことを確認してから作業を行ってください。
3. 作業のために一時的に取外す部品は十分注意して保管してください。特に汚れを嫌う部品および箇所につきましてはゴミ・ホコリ等に注意してください。
4. ハーネス・カブラーなどは破損・断線に注意しながら取外し、保管してください。
5. 一時的に取外す部品は、位置を誤って装着しないようマーキング等をして注意して取外してください。
6. 製品取付後は最低地上高が90mm以上確保されていることおよびスプリングが遊んでいないことを確認してください。

⚠ 取付上の注意事項

1. 製品取付時リアバウンドバンパー(バンブラバー)は純正品をカットせずそのまま使用してください。リアバウンドバンパーをカットしたり、純正品以外のものに交換されると、乗り心地が悪化したり、車高が規定値まで下がらない(または下がりすぎる)などの不具合が発生する場合があります。
2. 製品取付後は車高ダウンに伴い各サスペンションアームの取付角度が純正スプリング装着時と変化するため、ラバーブッシュが使用されているサスペンションジョイント部は、車輛をリフトアップした状態で取付ボルト/ナットを一旦緩め、水平な地面に車輛を接地させ車重をかけた状態で整備書記載の規定トルクで本締めを行ってください。この作業を怠ると、乗り心地が悪化したり、車高が規定値まで下がらないなどの不具合が発生する場合があります。
3. 製品取付後は車高ダウンに伴いホイールアライメントとヘッドライトの光軸が変化しますので、整備書記載の数値に再調整してください。

⚠ 使用上の注意事項

1. 純正サスペンション形式の特性上、適正なダウン量が得られるまで(車高が落ち着くまで)に多少の走行距離を要する場合があります。
2. 製品取付後は車高が下がりますので、道路の段差や駐車場の縁石に車体下部(アンダーカバー/マフラーなど)が接触しやすくなりますので、運転には十分にご注意ください。
3. 製品取付後の車輛は走行性能が変わります。車輛の動きに慣れるまでは十分に注意し急激な操作を避けてください。
4. 製品取付後、車輛に異常を感じた場合は走行中を問わず直ちに運転を中止し、エンジンを停止してください。異常が発生したまま運転を継続しないでください。

部品番号 : MLY700

適合車種 : MPV (LY3P) 2WD ターボ無車

構成部品

NO,	部品番号	部品名称	仕様	数量
	MLY700F	コイルスプリング フロント	線径 14mm バネレート 32.6N/mm 赤色粉体塗装仕上げ	2
	MLY700R	コイルスプリング リア	線径 16mm バネレート 75.4N/mm 赤色粉体塗装仕上げ	2

060420-1

⚠ 当製品装着にあたっての別途必要部品

本製品の装着にあたってはマツダ純正バウンドバンパーが別途必要となります。お近くのマツダ販売会社、またはマツダ部品販売会社にてお買い求めください。

部品番号: GE4V-34-111 部品名称: バウンドバンパー(フロント) 必要数量: 2個



取付要領 (フロント側)

- 1, ワイパーアーム(R)(L)、フロントフェンダーモール(R)(L)、カウルグリル(R)(L)を取外します。
- 2, ABSホイールスピードセンサー、ブレーキホース固定クリップを取外します。
- 3, ショックアブソーバー下側の取付ボルト・ナットを取外します。
- 4, アッパーマウント取付ナット(4個)を取外した後、ショックアブソーバーを車輻外側に引き出し、車輻より取外します。
- 5, ショックアブソーバーから純正バウンドバンパー(バンブラバー)を取外し、別途用意したバウンドバンパーに付け替えます。(マツダ純正部品番号: GE4V-34-111 必要数: 2個)
- 6, 下記に従いスプリングシートおよびマウンティングラバーの組込方向に注意しながら、ローダウンスプリングをショックアブソーバーに組み、逆の手順でショックアブソーバーを車輻に取付けます。

⚠ 車高変化に伴い、各サスペンションアームの取付部を一度緩め、空車荷重をかけた状態で再締付を行ってください。

ローダウンスプリング(フロント)

装着向きに注意(右図を参照)

装着向きに注意(右図を参照)

純正のバウンドバンパーを取外し、別途用意したバウンドバンパーに交換

切欠き スプリングシート 切欠き

左側車輻外側 右側車輻外側

車輻前方 フロントショックボトムブラケット

マウンティングラバー識別マーク

左側 45° 右側 45°

車輻前方 フロントショックボトムブラケット

取付要領 (リア側)

- 1, スタビライザーコントロールリンク(R)(L)上側ナットを取外し、コントロールリンクをトレーリングリンクから切離します。
- 2, リアオートレベリングセンサーリンク下側ナットを取外し、ラテラルリンク側固定部よりリンクを取外します。
- 3, ロアアーム下側にガレージジャッキを掛け、リアサスペンションを空車荷重(1G)状態まで縮めた後、リアアッパーアームのトレーリングリンク側取付ボルトを緩めておきます。
- 4, 上記3の状態のまま、ショックアブソーバー下側の取付ボルトおよびナット、ラテラルリンクのトレーリングリンク側取付部、ロアアームのトレーリングリンク側取付部にあるそれぞれの固定ボルトを取外します。
- 5, ディスクローターなどを手で持ちトレーリングリンク全体を車輻外側方向に引っ張り、トレーリングリンクとロアアームの接続部を切離し後、ガレージジャッキをゆっくり下ろしながらロアアームを押し下げ純正リアスプリングを取外します。
- 6, 下記に従いローダウンスプリングを装着後、逆の手順で車輻を復元します。

⚠ 車高変化に伴い、各サスペンションアームの取付部を一度緩め、空車荷重をかけた状態で再締付を行ってください。

締付トルク
 スタビライザーリンク: 43 ~ 61N·m
 レベリングセンサーリンク: 6.9 ~ 9.8N·m

⚠ スプリング装着後の調整作業

リアオートレベリングセンサーリンクの取外し作業に伴い、オートレベリングセンサーの初期化作業および車高の変化に伴い駐車支援ユニットの初期設定(装着車のみ)が必要となります。マツダ(株)発行の整備書(WM496)を参照にして、オートレベリングセンサーおよび駐車支援ユニットの再初期設定を必ず行ってください。